

立命館大学大学院
2023年度実施 入学試験

博士課程前期課程

テクノロジー・マネジメント研究科
テクノロジー・マネジメント専攻

入試方式	実施月	小論文	
		ページ	備考
一般入学試験	7月	P.1～	
	11月	P.4～	
	1月	P.7～	
	2月	P.10～	
社会人入学試験	7月		
	11月		
	1月		
	2月		
外国人留学生入学試験	7月	P.1～	
	11月	P.4～	
学内進学入学試験	7月		
	11月		
	1月		
	2月		
APU特別受入入学試験	7月	P.1～	
	11月	P.4～	
	1月	P.7～	
	2月	P.10～	
飛び級入学試験	7月	P.1～	
	11月	P.4～	
	1月	P.7～	
	2月	P.10～	
情報理工学研究科とのジョイント・ディグリー制度による2年次転入学試験	1月		
理工学研究科からの2年次転入学試験	1月		
生命科学研究科からの2年次転入学試験	1月		

【表紙の見方】

×・・・入学試験の実施がなかった等の理由で入学試験問題の作成がなかったもの、または、問題を公開しないもの
斜線・・・学科試験(筆記試験)を実施しないもの

立命館大学大学院
2023年度実施 入学試験
博士課程後期課程

テクノロジー・マネジメント研究科

テクノロジー・マネジメント専攻

後期課程では、筆記試験を実施していません。

2023 年度実施

(2023 年 9 月入学、2024 年 4 月入学)

立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科

入学試験問題

小論文

試 験 時 間
10 時 30 分 ~ 12 時

2023 年 7 月 9 日

[注意事項]

- ① 指示があるまで問題を見ないこと
- ② 解答は全て答案用紙に記入すること。下書き用紙や問題冊子に記入した解答は採点の対象とならないので、注意すること
- ③ 試験終了後は答案用紙、下書き用紙、問題冊子を全て提出すること
- ④ 解答のはじめに、問題番号を必ず記載すること(例: — 1.など)

1 <テーマ別論述問題（5問×10点）>

1. 日本においてイノベーション・マネジメントが重要である理由を述べよ。
2. インクリメンタル・イノベーション(incremental innovation)とラディカル・イノベーション(radical innovation)について、それぞれ知るところを述べるとともに、ラディカル・イノベーションの登場を技術進歩の S 字曲線の観点から説明せよ。
3. 「技術ロードマップ」とは何か。
4. モジュール化のメリットを二つ挙げよ。
5. セグメンテーションとターゲティングの定義を説明せよ。

《次ページへ続く》

2 <自由論述問題（50点）>

あなたが現在最も注目する「製品もしくはサービス」は何ですか？ひとつ思い浮かべてそれについて以下の設問に答えてください。

1. その「製品もしくはサービス」の強みと弱みは具体的に何ですか。その理由をできるだけ詳しく説明してください。
2. その「製品もしくはサービス」の開発に当たり、どのような技術が必要になると思いますか？重要になると考える技術をいくつかあげて、その理由をできるだけ詳しく述べてください。

《以 上》

2023 年度実施

(2024 年 4 月入学)

立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科

入学試験問題

小論文

試 験 時 間
10 時 30 分 ~ 12 時

2023 年 11 月 19 日

[注意事項]

- ① 指示があるまで問題を見ないこと
- ② 解答は全て答案用紙に記入すること。下書き用紙や問題冊子に記入した解答は採点の対象とならないので、注意すること
- ③ 試験終了後は答案用紙、下書き用紙、問題冊子を全て提出すること
- ④ 解答のはじめに、問題番号を必ず記載すること(例: — 1.など)

1 <テーマ別論述問題（5問×10点）>

1. 「ダーウィンの海」とは何か。
2. インクリメンタル・イノベーション(incremental innovation)とラディカル・イノベーション(radical innovation)について、それぞれ知るところを述べるとともに、ラディカル・イノベーションの登場を技術進歩の S 字曲線の観点から説明せよ。
3. 「ムーアの法則」とは何か。
4. モジュール化のメリットを二つ挙げよ。
5. 「ビジネスモデル」とは何か。

《次ページへ続く》

2 <自由論述問題（50点）>

近年、企業経営の基本戦略として、自社が競争力を有する業務に集中と選択をする傾向が強まっています。このため、多様な形態の企業間分業が行われています。生産を外部の企業に委ねる製造委託や製品開発を外部の企業に委ねる開発委託、更には欧米の医薬品業界で盛んに行われている研究・技術開発委託などがあります。

そこで、「企業間分業」に関して以下の設問に解答してください。

1. あなたが関心のある「企業間分業」の事例を1つ挙げ、その内容とその連携が行われる理由を説明して下さい。
2. 上記の「企業間分業」によるメリットとデメリットを各々の企業の立場から説明して下さい

◀以 上▶

2023 年度実施

(2024 年 4 月入学)

立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科

入学試験問題

小論文

試 験 時 間
10 時 30 分 ~ 12 時

2024 年 1 月 28 日

[注意事項]

- ① 指示があるまで問題を見ないこと
- ② 解答は全て答案用紙に記入すること。下書き用紙や問題冊子に記入した解答は採点の対象とならないので、注意すること
- ③ 試験終了後は答案用紙、下書き用紙、問題冊子を全て提出すること
- ④ 解答のはじめに、問題番号を必ず記載すること(例: — 1.など)

1 <テーマ別論述問題（5問×10点）>

1. イノベーション・マネジメントの重要性の普遍的理由を述べよ。
2. 産業発展とイノベーションの発生頻度に関するアバナシーとアッターバックのモデル（A-Uモデル）について知るところを述べよ。
3. 既存大企業がラディカル・イノベーションを生み出せなくなる理由として、既存大企業におけるセクショナリズムの蔓延を挙げることができる。セクショナリズムとは何か。またセクショナリズムが蔓延する理由を説明せよ。
4. 統合業務遂行を重視した製品開発組織のデザインを有効にする 3 つの重要な要因を説明せよ。
5. コンカレント・エンジニアリング（CE）の定義と製品開発における特性の詳細を説明せよ。

《次ページへ続く》

2 <自由論述問題（50点）>

以下の2問すべてに答えなさい。

1. ① あなたが最も競争力が高いと考える企業3社の名前を挙げ、② その3社の技術やサービスの特徴を説明するとともに、③ その3社の競争力が高いと思われる理由を説明しなさい。
2. SDGs（Sustainable Development Goals：貧困、健康福祉、環境保護などの社会問題を解決するための目標）を実現するための企業活動について、具体例を示しながら説明しなさい。

《以 上》

2023 年度実施

(2024 年 4・9 月入学)

立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科

入学試験問題

小論文

試 験 時 間
10 時 30 分 ~ 12 時

2024 年 2 月 17 日

[注意事項]

- ① 指示があるまで問題を見ないこと
- ② 解答は全て答案用紙に記入すること。下書き用紙や問題冊子に記入した解答は採点の対象とならないので、注意すること
- ③ 試験終了後は答案用紙、下書き用紙、問題冊子を全て提出すること
- ④ 解答のはじめに、問題番号を必ず記載すること(例: — 1.など)

1 <テーマ別論述問題（5問×10点）>

1. 「死の谷」とは何か。
2. 「能力増強型イノベーション」とは何か。
3. 「ネットワーク外部性」とは何か。
4. 「製品開発の QCD」を説明しなさい。
5. 「機会主義」とは何か。

《次ページへ続く》

2 <自由論述問題（50点）>

あなたが現在最も注目する企業について以下の2つの項目に答えてください。

1. 最も注目する企業名を“ひとつ”あげて、技術経営学の観点から、その理由を論理的に述べてください。

2. 1.であげた企業では、近い将来（約5年後程度を想定）、どのようなイノベーションが起こることが期待されますか？発生すると思われるイノベーションを具体的に示し、それが発生する理由を論理的に述べてください。

《以 上》